

学校内外の職種・機関（例）

学校内	組織	生徒指導委員会，いじめ対策防止委員会，教育相談委員会，特別支援校内委員会，進路指導委員会，健康安全部会，学校保健委員会など ※学校種・地域によっては名称が異なる場合がある
	役職	教務主任，学年主任，生徒指導主事，進路指導主任，保健主事，特別支援コーディネーター，教育相談コーディネーターなど ※学校種・地域によっては名称が異なる場合がある
	人材 専門人材	養護教諭，栄養教諭，スクールカウンセラー，ソーシャルワーカー，医療的ケアの看護職員，ICT支援員，学校司書，外国語指導助手（ALT），外国人児童生徒等に対する日本語指導支援員，理科支援員，部活動指導員，外部指導者，特別支援学校などには，言語聴覚士（ST），作業療法士（OT），理学療法士（PT），就職支援コーディネーター，早期支援コーディネーター支援員，発達障害支援コーディネーター，学校医，学校歯科医，学校薬剤師など
学校外	機関	教育関係：教育委員会，教育センター，教育委員会所管の機関，（教育相談所，適応指導教室，特別支援学校など） 福祉関係：児童相談所，子ども家庭支援センター，（児童相談所），要保護児童対策地域協議会，発達障害者支援センター，子育て世代包括支援センター 保健・医療関係：保健所（健康福祉事務所），保健センター，精神保健福祉センター，病院・診療所（精神科，心療内科，小児科など） 司法・警察関係：警察，少年サポートセンター，（家庭裁判所），（少年鑑別所），（保護観察所），（少年院）
	専門人材	スクールロイヤー，児童福祉士，児童指導員，児童心理司，児童自立支援専門員，精神科医，社会福祉士，精神保健福祉士，言語聴覚士，公認心理師・臨床心理士，保健師，少年補導職員，保護観察官など
	団体・活動	不登校，外国籍児童生徒，子供の貧困（子ども食堂）などにかかわるNPOなど

（日本学校保健会編：教職員のための子供の健康相談・保健指導の手引—令和3年度改訂—，日本学校保健会，2022）